

- ② 学校の働き方改革を推進
- ③ 救急車の正しい利用を
- ④-⑤ 特集 9月16日は敬老の日  
出会いを重ねてすきに生きる
- ⑥-⑧ 街の話題/コラム/お知らせ



memo

①川を探検しながらごみを拾うリバー  
トレッキング②おいしいカレーを作るため夏野菜  
を収穫③④標高1252mの大山に登頂⑤公民館で育  
てたカブトムシと触れ合う⑥なかなか割れない大  
きなスイカに苦戦⑦粘土を自分の頭で型取って皿  
を作る陶芸教室⑧鉄粉と紙で花火を作り仕組みを  
学ぶ化学実験⑨朝日が差し込むお家で座禅体験⑩  
料理教室で作ったパフェを頬張る⑪親子で協力し  
て宝箱を作る木工教室⑫神奈川工科大学の工房で  
コップに好きな絵柄を付けるサンドブラストを体  
験⑬⑭そうめんにご混ぜるゼリーをキャッ  
チ⑮⑯公民館の窓に動物や花などを自由に描く  
【題字】上田琉雅さん(玉川小2年)

公民館の催しは「公民館だより」に掲載

☎ 公民館 225-1111

流れてくるそうめんを取り合う笑い  
声、真つすぐ釘を打とうと手元に注ぐ真  
剣なまなざし、山頂を目指して駆けてい  
く子どもたち。夏空の下には、まぶし  
い笑顔があふれています。

市内の公民館では夏休み中、大山の頂  
上へ登るトレッキングや早朝のお寺での  
座禅体験など、学校では経験できない催  
しを毎年実施しています。長い夏休みは、  
普段できないことに挑戦する絶好のチャ  
ンスです。得意なことを見つけたら、地  
域の人と交流したりと、新しい出会いも  
たくさん。勉強だけではなく、さまざま  
な体験をすることで子どもたちの学びや  
成長につながっています。

公民館の催しで、忘れられない夏の思  
い出をつくれた子どもたち。新学期が始ま  
り、一回り成長した姿を見せています。

## 公民館 × 夏休み



市内15地区の公民館  
が、地域の交流や学  
びの場として年間500  
以上の催しを実施。



Zoom Up

子どもたちの教育環境充実のために

# 学校の働き方改革を推進

先生の最も大切な役割は、子どもたちの学力を高め、豊かな心を育むことです。一方、学校での仕事は、事務や行事の準備など多岐にわたり、長時間勤務が深刻化しています。市では、校務支援システムの導入や人員の配置などで、先生が子どもと向き合える環境を整えています。

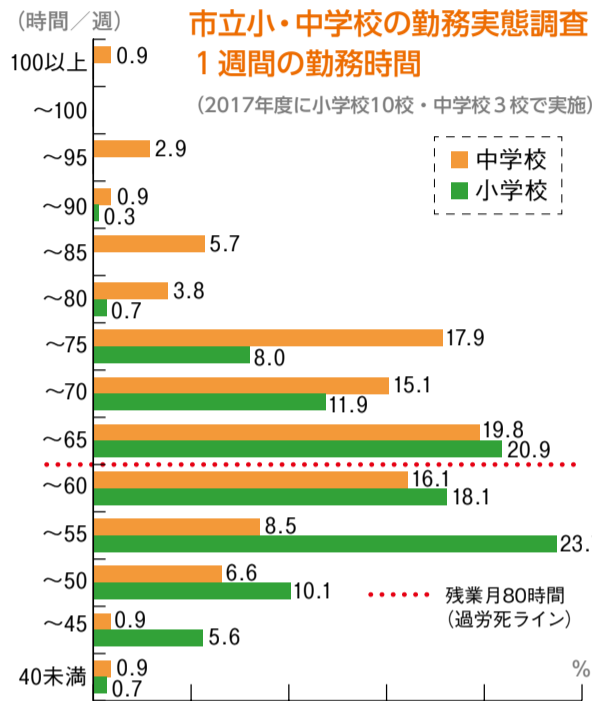
2016年の国の調査によると、小・中学校の先生の労働時間は一日平均で約11時間。小学校で3割、中学校で6割が、2カ月連続と過労死ラインとされる残業月80時間を上回っています。市内の調査でも同様の結果が出ています。そのため、先生の働き方を見直し、授業に力を注げる環境の整備は急務です。

## 設備や人の配置で負担を軽減

多忙化の原因には、事務や学校行事の準備、部活動など、授業以外の業務の多さがあります。市では昨年、成績の事務処理や報告書の作成などを効率



先生が子どもたち一人一人と向き合えるように



化できる校務支援システムを全校に導入。勤務時間を把握し、働き方の改善につなげるため、今年は出退勤を管理するシステムも設置しました。制限を設けていなかった電話応答も、対応方法を見直します(左欄参照)。業務や人員の面では、先生が実施していた校内の除草や樹木の剪定を担う事業を導入し、授業を補助する学力ステップアップ支援員を配置。モデル校2校に部活動指導員も導入しました。

市立小中学校PTA連絡協議会会長の有坂克幸さん(52・酒井)は「先生たちは授業以外の業務に追われている。PTAを含め、みんなができることを

引き受けることが子どもたちの学びの充実につながる」と話します。

## みんなの支えで教育を充実

教育現場は、授業数の増加やプログラミング教育の開始、小学校での英語の教科化など、大きく変わります。先生が、授業の準備に時間をかけることで、質の高い学びを提供できます。学校では、保護者や地域の皆さんが学校運営に携わるコミュニケーション・スクールも始まっています。みんなで学校を支え、より良い教育環境を整えていきましょう。

☎教育総務課 ☎25-2663

## 9月開始 小・中学校への電話は勤務時間をお願いします

先生の負担軽減のため、平日の勤務時間外、土・日曜、祝日などは音声メッセージで不在をお知らせします。皆さんのご理解をお願いします。

【平日応答時間】原則8~18時(中学校は19時)  
※緊急時は、110番や119番などに連絡してください。

☎学務課 ☎225-2890

# 10月開始 幼児教育・保育 無償化

全国的に幼児教育と保育の無償化が始まります。既に施設などを利用している方で、手続きが必要な場合は、市や利用施設からお知らせしています。 ☎こども育成課 ☎225-2262

施設・サービス	対象者 ※4	無償化対象額	要件	問い合わせ
保育所・地域型保育事業	3~5歳の子ども (0~2歳の住民税非課税世帯の子ども)	全額	無し	保育課 ☎225-2231
認定こども園・幼稚園 ※1		月額2万5700円まで		こども育成課 ☎225-2262
幼稚園 ※2		月額1万1300円まで (満3歳は月額1万6300円まで) 《450円×利用日数》	保育を必要とする事由(※5)がある	
預かり保育事業【幼稚園 ※1※2 認定こども園(1号認定 ※3)】	3~5歳の子ども	月額3万7千円まで (0~2歳は月額4万2千円まで)	保育を必要とする事由(※5)があり、保育所・認定こども園などに在籍していない	①②④保育課 ☎225-2231 ③利用施設の担当課 ⑤子育て支援センター ☎225-2922
①認可外保育施設 ②ベビーシッター ③一時預かり事業 ④病児・病後児保育事業 ⑤ファミリー・サポート・センター事業		全額 ※6	無し	障がい福祉課 ☎225-2225
就学前障がい児の発達支援		3~5歳の子ども	全額 ※6	無し

《対象外の費用》バス代、給食費、日用品費、行事参加費、制服代など

- ◆特別支援学校(幼稚部)、企業主導型保育事業も無償化の対象
- ◆認定こども園(1号認定)と幼稚園の保育料は、満3歳の子どもから無償化の対象
- ◆保育所、認定こども園、幼稚園に通う子どもの給食費のうち、副食費(おかず代)は、一部世帯で免除

- ※1 給付型幼稚園(子ども・子育て支援新制度移行幼稚園)
- ※2 私学助成幼稚園(子ども・子育て支援新制度未移行幼稚園)
- ※3 認定こども園に1号認定(教育認定)で通園する子ども
- ※4 入園する4月時点の年齢
- ※5 就労(月64時間以上)、妊娠・出産、疾病・障がい、介護・看護、災害復旧、求職活動、就学、虐待・ドメスティックバイオレンス、育児休業中の在園児継続利用
- ※6 保育所、認定こども園、幼稚園などと併用する場合は、どちらも無償化の対象

詳しくは ▶ 厚木市 幼児教育・保育無償化 検索





あつき 元気Wave  
9/1~CATVで放送

命を救うため一刻を争って出動する救急隊



救急車の適正利用の啓発をあつき鮎まつりで初めて実施

## Zoom Up

# 多くの命を救うために 救急車の正しい利用を

近年、軽い症状やけがで救急車を使う人が増え、本当に必要なときにすぐ利用できない事態が起きています。正しい救急車の利用や現場での応急手当では、尊い命を救います。いざというときの行動を確認しましょう。

### 本当に必要な119番か確認を

救急車の出動件数は、年々増加しています。昨年1年間で約1万2500件と、10年前に比べて3000件以上も増えています(左欄参照)。しかし、昨年の搬送者の41・5%はその日のうちに帰宅できた軽症者で、中には少しの発熱やけがなど、緊急性の低い事例もありました。

市内では現在、8台の救急車を配備しています。出動要請が重なることになり、到着に時間がかかる他、台数に限りがあるため対応できない可能性があります。厚木消防署警備第二課救急小隊長の和田保善さん(57)は「傷病者への救命処置は一刻を争う。1秒の遅れが命の行方を左右するため、救急車の適切な利用への理解をお願いしたい」と訴えます。一方で和田さんは「救急車を呼ぶか判断が難しい場合も多い。そんな時は迷わず119番通報してもらえれば」と話します。

市では、医師や保健師などの専門家が24時間体制で電話相談に応じる「あ

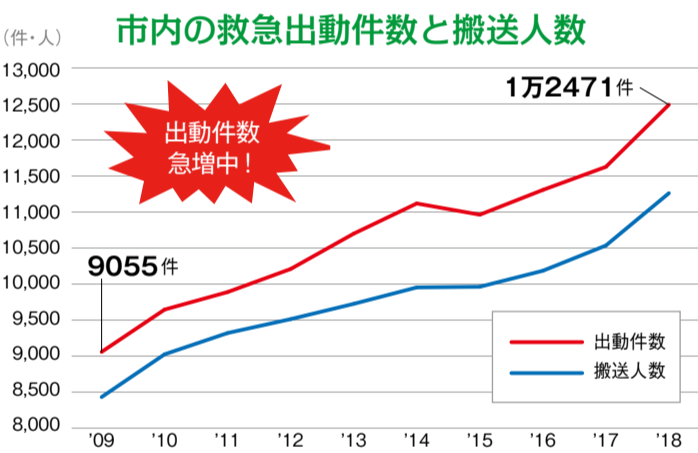
つき健康相談ダイヤル24」を開設しています(左欄参照)。「どこの病院に行けばいいかわからない」「軽いけがをした」など、緊急性が低い場合は電話相談を活用してください。

### 一人一人の行動が命を救う

119番通報を受けてから救急隊が現場に到着するまでの時間は、市内平均で約8分。この間に、現場に居合わせた人が応急手当をすることで、救命率は格段に高まります。市内では昨年、市民の方が自動体外式除細動器(AED)を使って3人の命を救い、社会復帰にまでつないでいます。

市では、市民の皆さんに応急手当の知識や技術を身に付けてもらうため、心肺蘇生法やAEDの使い方などを学ぶ講習会を開催。8月の鮎まつりでは、消防団員が救急車の適正利用を呼び掛けるなど、啓発活動にも力を入れています。9月9日は救急の日。一人でも多くの命を救うため、救急車の適正な使い方と救命への理解を深めましょう。

☎救急救命課 ☎223-0360



### こんな時は迷わず119番!!

呼吸や心臓が停止している 胸が痛い 出血がひどい 意識がない けいれんが続く

### 判断に迷ったら あつき健康相談ダイヤル24

専門スタッフが24時間年中無休で状況を伺い、健康相談をはじめ、応急手当の仕方や医療機関の情報などを答えます。

さわやか1番 よいこころ

☎0120-31-4156

**無料** いざという時に命を救う行動を学ぼう  
**あつき救急フェア**

救急車の適正利用の必要性や応急手当の方法などを学ぶイベントを開催します。

《日時》9月8日 10~15時  
《場所》スーパービバホーム厚木南インター店  
《内容》心肺蘇生法の体験や救急車・救急資器材の展示など  
☎当日直接会場へ。

隊員が一人一人丁寧に指導

☎救急救命課 ☎223-9365

ソーシャルメディア(SNS)で広がる情報交換の場  
ご近所SNS「マチマチ」を利用しませんか

スマートフォンやパソコンで地域の話や子育てなどの情報を交換できるサービス「マチマチ」を使って、新しい発見やつながりを見つけませんか。

☎情報政策課 ☎225-2459

■マチマチって何?  
地域の話や店の口コミなどを情報交換できる、民間事業者が運営するSNSです。市では、公式アカウントによる情報配信を開始しました。

■マチマチのここが便利!

- 投稿内容は「子育て」や「ペット」など、さまざまなカテゴリから選択可能。相談や質問の場としても活用
- スマートフォンなどで撮影した写真を気軽に投稿
- 細かな地域を設定でき、必要な情報を入手
- 携帯電話の番号による個人認証で不正利用を防止
- 市公式アカウントが発信するお知らせを入手

■まずは利用登録を  
サービスの利用には、マチマチHPでの登録が必要です。

HPはこちら

**マチマチ操作説明会**  
サービスの利用方法の説明会を開催します。 **無料**

《日時》9月11日 13~15時  
※入退場自由  
《場所》あつき市民交流プラザ  
☎スマートフォンまたはタブレットを持ち、当日直接会場へ。Eメールアドレスが必要。





期待に応える。

力強い投球フォームから放たれた球が、小気味よい音を立ててミットに収まる。59歳以上の選手でつくるソフトボールチーム「シニア厚木クラブ」の全国大会出場を懸けた大事な試合。マウンドでは、菊地忠志さん(81・三田南)が捕手の手元に真剣な視線を送っていた。

菊地さんは50代の時、自治会の仲間を誘われてソフトボールを始めた。ほとんど経験がないにも関わらず、選手が足りないからと投手を頼まれ、52歳で初めてマウンドに立った。最初は全くストライクが入らず悔しい思いを、二回も年下の仲間からどやされた。競技も仕事と一緒に。頼まれたからには、納得のいくまでやり切りたい。そう



黙々と技磨き

シニアソフトボール選手 菊地 忠志さん

その日から毎日のように、好きなバンドの演奏を聴きに全国のライブハウスを飛び回った。感想を語り合える顔なじみのスタッフや、インターネットが苦手な佐藤さんに手紙で情報を知らせてくれる友達もできた。1



8月のあつぎジャズナイトの企画にも参加

年ほど経つ頃にはいつの間にか、好きなものに共感してくれる観客が集まるライブハウスを開きたいという意志が固まっていた。開店には、ジャズを通して知り合った友人がホームページ制作や看板のデザインなどを助けてくれた。本当に人に恵まれた」と佐藤さんは振り返る。大好きな演奏者に自ら出演交渉をして、お客さんと一緒に演奏を聴くことが何よりも楽しいという佐藤さん。人生で初めての自分の好きなことをやっている気がする。今が一番幸せ」とほほ笑む。これからも、大好きな音楽を分かち合う空間をつくっていく。



音楽を味わう空間づくり

ライブハウス経営 佐藤 ふじ子さん



開演前に予約席の準備をする佐藤さん

「始めるよ。ひい、ふう、みい」。掛け声とともに打楽器がリズムを取り、一斉に楽器が鳴らされる。ここは、ボランティアで観客参加型の演奏会を開催する「昭和大衆演芸企画」の練習場。16日に文化会館で開催するメンバーが、歌謡曲やラテン音楽の練習を重ねている。打楽器を担当する馬場徹さん(73・吾妻町)は、演奏会の企画・運営を取り仕切っている。普段は、市内でタクシー運転手として働いている馬場さん。病院に通う高齢者を乗せることが多く、世間話の中で、一人暮らしの寂しさや、体が思うように動かないつらさを耳にしていた。8年前、自身も70歳を目前にして「誰もがいつかは年を取る。彼らを笑顔にするために、何かできないか」と考えた馬場さん。昭和の懐かしい音楽を演奏し観客に歌ってもらおう、参加型の演奏会を思い付いた。チラシやポスターでメンバーを募ると、共感した人が徐々に集まった。今では9人が所属し、月に



誰でも楽しめる場を

ボランティア演奏会企画 馬場 徹さん

2回ほど練習をして、その後メンバーで食事に行くのも一つの楽しみになった。福祉施設などで聞く演奏会では、認知症の人や体が不自由な人でも、知っている曲が流れると歌ったり、体を揺らしたりして楽しんでくれる。そんなときが、馬場さんにとって一番うれしい瞬間だ。「自分もメンバーも楽器はうまくないけど、それでいい。お客さんは喜んでくれるし、自分たちも集まるのが楽しいんだから。練習も本番も心から楽しむ馬場さんたちの演奏は、今日も誰かに笑顔を届けている。



仕事でも乗客との会話を大切にしている

出会いを重ねてすてきに生きる
年を取ることは、何かを失うこと。現代、時折目にする悲しいニュースは、私たちの心に不安の影を落とします。でも、本当にそうでしょうか。私たちの身近には、重ねる年月の繊微を味わい、胸をときめかせ、自由に、慎ましく、つながり、生きる人たちがいます。



練習の合間にチームメイトと談笑

チームの目標は、60歳以上のスポーツ全国大会「ねんりんピック」に再出場すること。「邪魔にならないように、でも若い人に負けないよう食らいついていきたい」。目標を見据え、菊地さんは腕を磨き続けている。

自分らしさを、モノで語る。

恩師からの絵手紙

絵手紙講師 山下 和江さん(72・鷲尾)



絵手紙を始めて20年ほどになります。昔から絵を描くのが好きで、友人の誘いで簡単な道具でできる絵手紙を始めました。今は輝き厚木塾をはじめ、16の教室で講師をしています。魅力は、季節感のある絵に添えて気持ちを伝えられること。送る相手を思いながら描くように生徒さんには伝えています。宝物は、亡き恩師から届いたたくさんのお礼や私を気に掛ける言葉が詰まっています。見るたびに温かい気持ちになります。



好きなものに生き生きと打ち込む皆さんに、大切な宝物やこだわりのある道具など、自分らしさを象徴する品々を教えてくださいました。



食べるのが好きで料理をするようになり、会社員時代に調理師免許を取りました。今は公民館などで料理教室を開いています。市民運動会や祭りの時に料理を振る舞って、みんなにおいしいと喜んでもらえるのがとてもうれしいです。使う道具にも気を使っていて、特に包丁は切れ味の違いで料理の味も変わるので小まめに研ぎます。専門店で購入したこの包丁は、地域の催しなどで一度に大量の料理を仕込むときに使うこだわりの品です。



ここぞという時の料理道具

料理愛好家 渡邊 征一さん(77・愛甲東)



独立後の初舞台で使った扇子

日本舞踊講師 平井 絹江さん(船子)

30年以上、日本舞踊を教えています。上品で美しい振りだけでなく、クスツと笑える展開など、踊りには多彩な魅力があります。体を壊した60代の時、人の支えがなければ生きていけないと実感し、できる限り自分の人生に責任を持つため家元から独立しました。あいさつを書き込んだ扇子は、独立後の初舞台に向けて準備した品。支えてくれた皆さんに間違いなくお礼を伝えるため、とても緊張していたことを思い出します。



笑顔を届ける。

仲間との練習中は笑いが絶えない

人生100年の時代は好きなことを見つける
東京大学高齢社会総合研究機構特任講師 後藤 純さん(40)

医療の進歩や経済成長などで、定年後も数十年生きる長寿の時代になりました。かつて当たり前だった、60歳で引退した後は余生という考え方は変わりつつあります。若い世代を含め社会全体で「人生70年」の考え方が根強く残っていますが、人生を充実させる戦略を、時代に合わせて変えていく必要があります。

老いへの不安の多くは、ライフスタイルや時間に自由がきくようになり、選択肢が増えたことで生まれたものです。選ばなかった道を後悔し、老いた先の未来を考え、「自分の選択が正しかったのか」「この先、体や認知の機能が衰えても幸福に生きていけるのか」と考え込んでしまうのです。

年を取るのを止めることはできません。しかし、長い人生を豊かに生きる選択肢は無限にあり、正解・不正解はありません。これからの時代は「緩やかなコミュニティ」が大切になっていきます。若いうちから好きなことに打ち込み、気の合う人を見つけてつながりましょう。家族以外にも、楽しみや不安を分かち合ったり、いざという時に頼ったりできる居場所をつくるのが、「人生100年」の時代を幸福に生きるポイントです。

9/16は敬老の日 敬老祝金・祝品

敬老祝金
対象=9月15日現在、77・88・99・100歳の方(7月に通知文を送付済み)。
同封の振り込み依頼書を、返信用封筒で投函。

敬老祝品
対象=9月15日現在、傘寿(80歳)・卒寿(90歳)の方。対象者には9月下旬以降に送付。
介護福祉課 ☎225-2224



## チームワークを強みに全国の舞台へ

市内の少年野球チームが全国大会出場を市長に報告



大会前に小林市長に意気込みを語ったメンバーたち

丸となって日本一を目指して、「エールを送りました。」とエールを送りました。

大会を前にメンバーたちは小林市長を表敬。小林市長は「個々の力を十分に発揮して、チーム一丸となって日本一を目指して、エールを送りました。」とエールを送りました。

市内を拠点に活動する少年野球チーム「三田フレンズ」が、8月に東京都で開催された高円宮賜杯第39回全日本学童軟式野球大会（マクドナルド・トーナメント）に初出場しました。厚木市からの大会出場は33年ぶりとなりました。

## 千葉ポートアリーナで日本代表と熱戦

男子バスケットニュージーランド (NZ) 代表の観戦応援ツアーを実施

8月に千葉県で開催された、NZ代表と日本代表の男子バスケットボール国際親善試合の応援ツアーを実施しました。市民応援団約80人が会場に駆け付け、NZ選手に声援を送りました。



NZ国旗を片手に声援を送る応援団

ツアーは、2020年東京五輪・パラリンピックに向けたホストタウン交流の一環として実施。応援団は、厚木市の市章やNZ代表チームのロゴがプリントされたそろいのウェアを着用し、選手らを応援する横断幕を掲げて試合を観戦しました。ツアーに母親と参加した幡野虹河さん（11）は「生の試合は迫力があって楽しかった。また応援したい」と表情をほころばせていました。



## 友好都市でつくる夏の思い出

秋田県横手市の子どもたちが厚木市を訪問

ね、絆を深めています。

初日には、ふれあいセンターで訪問団の歓迎会を実施。両市の子どもたちがプレゼントを交換した他、チャダンスチーム「厚木ブルーエンジェルズ」が元気いっぱいダンスで歓迎しました。

し、今年で34回目になります。横手市訪問団は3日間、今年で34回目になります。横手市訪問団は3日間、今年で34回目になります。横手市訪問団は3日間、今年で34回目になります。



横手市の30人の子どもたちを歓迎

## 夏本番を告げる厚木の風物詩

第73回あつぎ鮎まつりを開催

厚木の夏の風物詩「第73回あつぎ鮎まつり」を、8月3・4日の2日間にわたって開催しました。



大花火大会のフィナーレを飾ったナイアガラ

家族で来場した中村紗都さん（31）は「今年も子どもと楽しみにしていた。子どもはお祭りの雰囲気だけでなくグルメも味わえて喜んでいました」と笑顔を見せていました。

### 厚木からラグビーを盛り上げよう!!

**無料**

## リポビタンDチャレンジカップ2019

日本 vs 南アフリカ

## パブリックビューイング

9月に熊谷ラグビー場(埼玉県)で開催されるラグビー世界大会の試合を生中継します。

市がホストタウンになっているニュージーランド(NZ)の7人制ラグビー代表選手のトークショーも実施します。

**日時** 9月6日 18時30分～(19時15分キックオフ)

**会場** あつぎのえいがかんkiki

**内容** 7人制ラグビー-NZ代表選手によるトークショー、ラグビー日本vs南アフリカパブリックビューイング

**定員** 140人

重低音が響く特大サブウーファーによる大迫力響音上映で楽しめる!  
9月3日までに県HPから申し込み。抽選。

詳しくは [ラグビー 厚木PV](#)

前回ワールドカップでの日本代表NZの人気選手がトークショー




シレイ・カカ選手    ギリス・カカ選手

企画政策課 ☎225-2050

## ひとまち 元気

厚木市長 小林孝良

8月に令和初となる「あつぎ鮎まつり」を開催しました。猛暑となった2日間でしたが、約71万人もの方にお越しいただき、誠にありがとうございました。私もできる限り多くの会場に伺い、皆さんと一緒に祭りを楽しむことができました。

毎年市内外からたくさんの方が訪れる鮎まつりですが、楽しみにして下さっているのは県内の方だけではありません。今年で友好都市締結

テニ市や韓国軍浦市とも友好都市として交流を続けています。最近、日韓関係の話題をよく耳にしますが、そんな時だからこそ、厚木市と友好都市の皆さん一人一人が互いに向き合い交流することが大切だと感じています。友好都市は、共に成長するための絆です。培ってきた関係を未来につなぐため、これからもお互いの理解や友好を深め、さらなる絆をつないでまいります。

この他にも厚木市は、米国ニューブリテン市や韓国軍浦市とも友好都市として交流を続けています。最近、日韓関係の話題をよく耳にしますが、そんな時だからこそ、厚木市と友好都市の皆さん一人一人が互いに向き合い交流することが大切だと感じています。友好都市は、共に成長するための絆です。培ってきた関係を未来につなぐため、これからもお互いの理解や友好を深め、さらなる絆をつないでまいります。



第73回あつぎ鮎まつりオープニングパレードで

35周年を迎える中国揚州市や来年35周年と15周年を迎える秋田県横手市、北海道網走市、そして昨年締結した沖縄県糸満市の皆さんにも、厚木が誇る夏の風物詩を楽しんでいただき



# タウンガイド

9月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

10月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

☑=申し込み ☎=問い合わせ ☎=電話番号  
 ☎=ファクス番号 ✉=Eメール HP=ホームページ  
 📍=マイタウンクラブ(📍印の番号で、ウェブ上から詳しい情報を確認できます。「📍」と記されたものは、申し込み可)  
 市役所への郵便物は「〒243-8511〇〇課」で届きます。

## あつぎのしゃしん。



「あゆみ橋と花火」

#8月3日撮影  
 #あゆみ橋  
 #夏の風物詩  
 #niceatsugi  
 広報課公式Instagramで公開中



### ミニCHiKaフェス

9月7日、10～17時。本厚木駅前東口地下道。小学生ロボットバトルトーナメント(500円)、けん玉教室、市内産採れたて野菜の販売など。無料(一部有料)。☑当日直接会場へ。ロボットバトルトーナメントは9月6日までにロボットゆうえんち☎080-4081-6371へ(当日参加も可)。先着順。📍企画政策課☎225-2450。

### 療育支援事業研修会「ちょっと気になる子の理解とかかわり」

10月18日、10～11時。保健福祉センター。発達障がいのある子どもへの理解と関わり方の講演。定員50人(託児・手話通訳あり)。9月25日までに要予約。託児は1歳～小学3年生10人。先着順。無料。☑9月2～30日に療育相談センター☎225-2252へ。先着順。

### 市立病院職員を募集

●看護師  
 《試験日》10月4日《対象》1985年4月2日以降生まれで①看護師または助産師資格を持つ②2020年の国家試験で取得見込み一のいずれかに該当する方50人。

◆臨床検査技師  
 《一次試験日》10月27日《対象》1990年4月2日以降生まれで①臨床検査技師資格を持つ②2020年の国家試験で取得見込み一のいずれかに該当または、1979年4月2日以降生まれで臨床検査技師資格を持ち③医療機関などでの経験が5年以上④臨床検査技師業務に係る認定資格を持つ一のいずれかに該当する方若干名。

◆臨床工学技士  
 《一次試験日》10月27日《対象》1990年4月2日以降生まれで①臨床工学技士資格を持つ②2020年の国家試験で取得見込み一のいずれかに該当する方若干名。

●身体障がい者対象(任期付き職員)  
 《職種》診療情報管理士、看護師、診療放射線技師、理学療法士、作業療法士、臨床工学技士、薬剤師、管理栄養士《対象》1985年4月2日～98年4月1日生まれで①身体障害者手帳を持つ②活字印刷文による出題に対応可能③資格を持つまたは取得見込み一の全てを満たす方若干名。

す方若干名。  
 いずれも☑市立病院やHP、市役所本庁舎、本厚木・愛甲石田駅連絡所にある申込書を、直接または郵送で☑9月25日◆10月16日●11月2日(消印有効)までに〒243-8588 水引1-16-36 病院総務課☎221-1570へ。詳しくは、募集案内に掲載。

### 市議会正副議長が決定

8月7日の市議会第3回会議で議長に寺岡まゆみ氏(公明党)、副議長に井上武氏(ネクストあつぎ)が選出されました。寺岡氏は、副議長をはじめ、市監査委員や総務企画常任委員会委員長などを歴任。5期目。61歳。戸室在住。井上氏は、議会運営委員会副委員長や市民福祉常任委員会副委員長などを歴任。4期目。53歳。幸町在住。☑議会総務課☎225-2700。



寺岡まゆみ氏



井上 武氏

### 9月10日は「屋外広告の日」

屋外にある広告物には、掲出位置や大きさなどのルールがあり、設置には条例に基づく許可が必要です。事前に相談してください。ルールを守りきれいなまちをつくりましょう。☑都市計画課☎225-2401。

### みんなの声でつくるまち

#### 【パブリックコメント】

#### ■市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の改正

《閲覧期間》9月2日～10月2日。

☑環境事業課☎225-2790。

#### ◆市営自転車等駐車場条例の一部改正

《閲覧期間》9月15日～10月15日。

☑交通安全課☎225-2760。

いずれも閲覧場所は、各担当課窓口、市政情報コーナー、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所、保健福祉センター、中央図書館、あつぎ市民交流プラザ、市HP、◆は市営駐輪場。応募方法は、閲覧場所にある用紙に掲載。

### アミューあつぎハンドメイド&クラフトマルシェ

9月28日、10～16時。アミューあつぎ。約20店舗によるアクセサリや洋服、雑貨などの手作り品の販売、ワークショップなど。☑商業にぎわい課☎225-2834。

### あそぼう!まなぼう!まめの木タイム

9月10日、11～12時。三田児童館。発達に関する講座と手遊びや親子遊びなど。乳幼児と保護者20組。無料。☑当日直接会場へ。先着順。☑療育相談センター☎225-2252。

### 斎場施設見学会

9月17日、10時30分～12時。市斎場。施設見学と葬儀の説明。定員30人。無料。☑9月1～16日に市斎場☎281-8595へ。先着順。

### プレミアム付商品券購入引換券の交付申請を受け付け中

7月中旬に郵送した申請書をお持ちの方は、早めに申請をお願いします。商品券は1冊4千円(額面5千円)で、1冊単位で購入できます(上限5冊)。商品券が使える店舗など詳しくは、市HPに掲載。☑申請者専用コールセンター☎200-7611。

### 人生の最期まで自分らしく 地域包括ケア市民講演会

住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを最期まで続けるヒントを得る講演会を開催します。

日時 11月22日 13時30分～16時 無料

会場 文化会館

内容 1部=「平穏死」に関する著書で有名な医師による「最期まで自分らしく」をテーマにした講演会 2部=パネルディスカッション

対象 市内または近隣市町村在住在勤在学の方1400人

☑電話またはハガキ、ファクス、Eメールに〒住所、氏名、電話番号、参加人数を書き、10月31日(必着)までに〒243-8511福祉総務課地域包括ケア推進担当☎221-2205・✉1900-08@city.atsugi.kanagawa.jpへ。抽選。📍192406 ☑福祉総務課地域包括ケア推進担当☎225-2047

### 市公式Instagram

アカウント「atsugi\_city」でまちの情報を発信しています。皆さんもハッシュタグ「#niceatsugi」で厚木の魅力を発信しましょう! ☑広報課☎225-2040

#niceatsugi

### インターネットモニターからの意見を紹介



インターネットモニター募集  
 厚木市インターネットモニター 検索

☑広報課☎225-2043

### 8月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆自然災害が問題になる中、雨水貯留施設の完成はありがたい/50代女性 ◆高齢者の1人暮らしをサポートする取り組みは、厚木に住み続ける上で安心感を持てた/40代女性 ◆生活習慣病に備え、自分に合った生活の工夫を考えたい/60代男性 ◆ホストタウンとしてニュージーランドと活発な交流が行われていることは、市民として誇りが持てる/70代以上男性 ◆ジャズナイトはジャズに詳しくなくても楽しめるので今年も行きたい/40代女性

### 編集後記

年齢に関係なく、「もう年だから」と謙遜する人をよく見掛けます。好きなものに打ち込み、それをきっかけにした縁を大事にする皆さんを取材する中で、年齢を重ねてこそ広がっていく好奇心や人とのつながりがあるのだと実感しました。若さをまぶしく思う気持ちもあるけれど、重ねた時間も同じくらい尊いもの。私は取材した皆さんより年下ですが、何歳になっても自分の年齢を誇ろうと思いました/水野





厚木の街がハロウィーン一色に!

# あつぎハロウィーン 2019

10月27日

10~16時  
本厚木駅周辺

秋の大人気イベントが今年もやって来ます。合言葉は「トリック・オア・トリート!」。思い思いの衣装に身を包み、ハロウィーンを楽しみましょう。



## ① 仮装パレード

仮装をして、あゆコロちゃんと一緒に厚木一番街を歩こう(定員1200人)。



## ② 仮装コンテスト

自慢の仮装でコンテストに参加しよう!写真審査でグランプリを決定(15組。1組5~15人)。グランプリにはホテル利用券をプレゼント。



## ③ スタンプラリー

協力店を回ってお菓子とスタンプを集めよう!全部集めた方には記念品をプレゼント(定員400人)。



昨年のパレードの様子

今年も  
小田急電鉄株式会社と  
共同で開催



昨年のコンテストの様子

**対象**▶当日仮装をしている方(③は中学生以下、保護者同伴可)  
▶往復ハガキに代表者の〒住所、氏名、電話番号、参加人数(保護者含む)、参加希望のイベント名、②は団体名を書き、9月30日(必着)までに〒243-8511 商業にぎわい課へ。先着順。

300円



## ステージイベント&飲食ブース

厚木中央公園

特設ステージでは、音楽やダンスなどを披露。市内の美味しいものを集めた「あつぎOECフード」などが出店し、グルメも楽しめます。



あつぎにぎわいアドベンチャー隊  
渡部 雄太さん  
(神奈川工科大学2年)

## 自分の好きな仮装で街を歩こう!

ハロウィーンの面白さは、何といっても仮装して非日常を楽しむことです。自分の好きな格好で、みんなで厚木の街を練り歩きましょう。今年は、あゆコロちゃんの衣装に力を入れているので楽しみに!



商業にぎわい課 ☎225-2840

詳しくは

あつぎハロウィーン

検索

## 自然歳時記

### ● オオスカシバ ● スズメガ科

羽を開くと50~70mmほどの大きさ。「大透翅」と書き、名前どおり黒い縁取りのある透明な翅を持つ。翅の力が強く、ホバリングしながら蜜を吸う昼行性のガ/中荻野のコスモス畑で見つけた。 写真・文/吉田文雄



コスモスの花が咲き始めるとツマグロヒョウモンやアゲハチョウがよく飛び交う。風に揺れる花にしっかりつかまって丁寧に蜜を吸っている。オオスカシバやヒメクロホウジャクも羽を動かし、空中でピタリと静止しながら長い口先を使って蜜を吸っている。ガは夜に活動すると思われがち

だが、オオスカシバなどホウジャクの仲間は昼に活動する。幼虫は、公園などに植栽されているクチナシの葉を食べて育つ。子どもたちがハチドリみたいと言っていたが、漢字でホウジャクは蜂雀と書き、蜜を吸う姿はハチドリを思わせる。こんなに美しく素早く飛翔する昆虫をぜひ見てほしい。

厚木市の人口  
(8月1日現在)



世帯数 10万332世帯(前月比138世帯増)



人口 22万4851人(前月比7人減) 男11万6361人・女10万8490人